

「整列しろ！」

「フフフフフフ！」

ザッ  
ザッ

組織の下級戦闘員として洗脳された者達が整列する。いずれも優れた容姿を持つ美少女達であり、その中にはかつて組織と戦っていた者達の姿もある。ここには戦闘員として改造されたばかりの者達が集められていた。そして今、完全な組織の戦闘員となるための洗礼が行われようとしていた。





「勃起完了致しました！」

敬礼と同時に勃起の報告をする元エースパイロット。伸縮するボディースーツを着ているためぴっちりとして勃起チンポの形が浮き上がっていた。

「それで最大か？」

「はいっ！フル勃起しておりまーおほおっ！？！？！？」

腰を突き出すようにして勃起の報告をするパイロット娘のソレに思いっきり鞭が振り下ろされた。

ん

ん

「データより少し小さい、次に嘘をついたらただじゃ済まさんぞ…おっと、許可がでるまで射精はするなよ」  
突然の衝撃に身体とチンポをビクンビクンと痙攣させるパイロット娘。射精だけはしてはならないと必死に我慢をしているため変な顔になってしまっている。

「……最大勃起完了致しました！」「……  
命令通り勃起させた彼女達は再びピンッと姿勢を正し、整列する。

「よし……いいだろう。貴様達のその無様なチンポの中には**【肥後】**一人格**【能力】**いまままで経験した事の全てが詰まっている、しかし貴様らの今後にはそのようなものは一切必要ない！、射精とともに全てを吐き出し、我が組織の完全なる戦闘員となるのだ！貴様らの忠誠心を示してみろ！」

「……はいっ！絶対の忠誠を捧げますっ！」「……

激しく勃起させながら答える彼女達。その忠誠心を示すかのような改造チンポがピクンピクンと反応している。

「総員！射精用意！」



「射精、始めっ！」

「はいっ！射精しますっ！」

命令が下されたと同時に彼女達は一斉に射精を始める。

ぐ

ぐ





「そこのお前！、いつまで射精してらる！」

「もうしわけございませ、んおつほおおつ！」

しかしやがて射精がおさまり始め、彼女もまた周囲と同じように無表情になっていく。

「終わったか、これで貴様らは我が組織の下級戦闘員だ。喜べ、たっぷりこき使ってやる…、それとそここの射精が長かったお前、懲罰だ、ついてこい！」  
こうして彼女達は、彼女達の全てを自ら吐き捨て、完全な戦闘員となってしまうのだった。